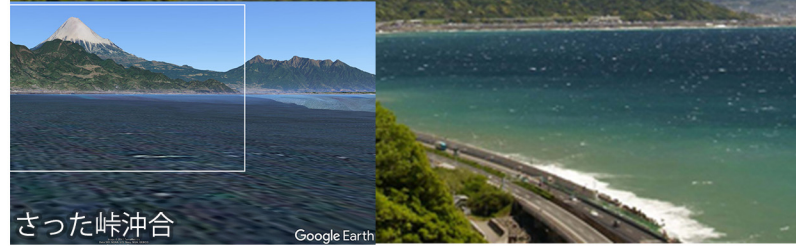




北斎文遣の不二から、和歌「田子の浦にかすみのかく見ゆる哉もしほの煙立やそふらん」のやつし絵説あり。

さった峠から見た(旧田子の浦)画像



東海道江尻田子の浦略圖 富嶽三十六景(1830~1832)

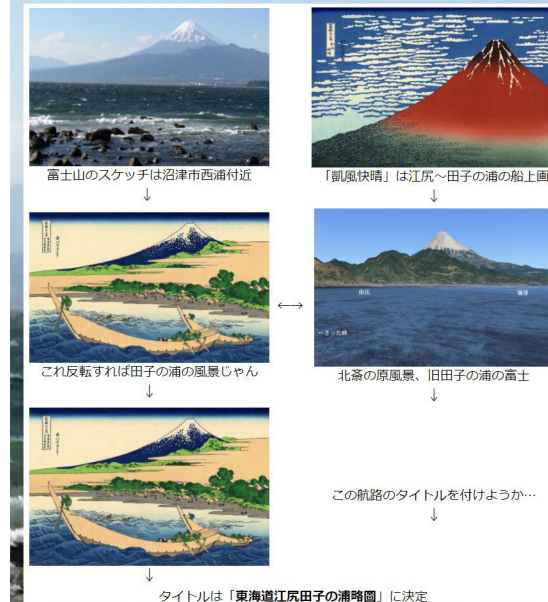


田子の浦港沖から

通説：現在の田子の浦港沖(吉原宿沖)。



実際はこの画のような景色に見えない。しかし、反転すると旧田子の浦に見える。(旧田子の浦は現在のさった峠に該当)



富士山のスケッチは沼津市西浦付近

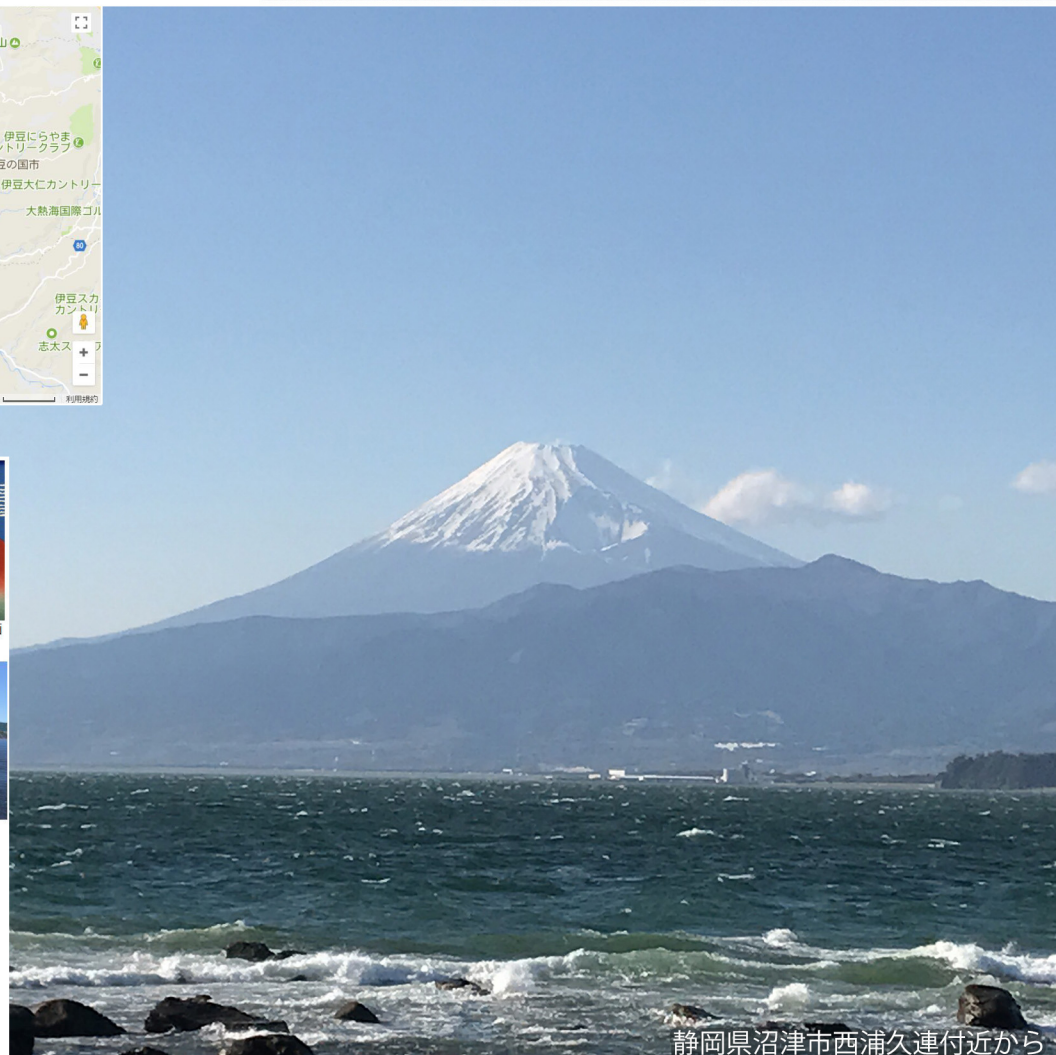
「凱風快晴」は江尻～田子の浦の船上画

これ反転すれば田子の浦の風景じゃん

北斎の原風景、旧田子の浦の富士

この航路のタイトルを付けようか...

タイトルは「東海道江尻田子の浦略圖」に決定



静岡県沼津市西浦久連付近から

新説：凱風快晴と同一風景(旧田子の浦沖)を沼津市沖(違う場所)から見た富士山で置き換えてこのタイトルを付けた。つまり、江尻～田子の浦航路を別の風景で(実際の風景を略して)描いた絵であるという引っ掛け画。よってタイトルは略図となっている。